

## とうきょう すくわくプログラム実践報告書

|    |                         |
|----|-------------------------|
| 所在 | 東京都港区港南4-7-37 港区港南緑水公園内 |
| 園名 | ミアヘルサ保育園ゆらりん港南緑水        |

### 1 活動のテーマ

<テーマ>

自然(さつまいもはどうやって大きくなって実になるの?)

<テーマの設定理由>

身近な栽培物を観察し、栽培物がどうやって大きくなり実をつけるか児が興味をもったため。

### 2 活動スケジュール

5月 さつまいもの苗植え  
～水やりをしながら日々観察  
6月 どうやってさつまいもの実になるか予測した絵を描く  
7月 水やりをしながら葉の大きさの変化に気づく  
8月 お芋ができたらどうやって食べたい?  
10月 お芋を収穫しよう  
11月 収穫したお芋を食べよう

### 3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

さつまいもの苗 土 肥料 畑を加工ネット  
画用紙 クレヨン マジック 模造紙

#### 4 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・芋の苗植えを行い、日々歯の成長の様子を水やりをしながら観察。観察を通し、どのように芋ができるのか予測し、絵を描いた。
- ・日々水やりをしながら葉が大きくなる様子や、ツルが大きくなっていく様子を観察していく。
- ・サツマイモが大きくなってきた際に、収穫し、サツマイモの観察を行う。
- ・収穫したサツマイモを利用し、スイートポテトを作る。

#### 5. 振り返り



(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

苗植えの際、小さい苗を見て本当に芋ができるのか疑問に思う声が上がった。日々の水やりの中で大きくなっていく姿をみて「どうやってお芋はできるのか」疑問を持つ声が聞こえた。芋がどうやって実るのか知らない児も多くいたため、どのようにサツマイモが実るのか予測して絵に描いてみた。様々な考えやイメージを絵で表現し発表した。正解はどれなのか日々の芋の成長をますます楽しみにする姿が増えた。

・芋の収穫では、様々な大きさの芋に喜んだり、形に注目しながら楽しんで掘る姿が見られた。自分で掘った芋はどんな味がするんだろうと味に興味を持つ姿も見られていた。保育者が「どんなサツマイモを使ったどんな料理が食べてみたい？」と問いかけると、「やきいも」「スイートポテト」など様々な意見がでた。クラスで話し合いをし、スイートポテトを作ることになった。

・スイートポテトづくりでは、サツマイモの形状の変化や香りを楽しみながら調理した。好きな形に作り上げ、食すと、「甘くておいしい」「つぶすといろいろな形にできるんだ」と気づく姿が見られた。

#### <振り返りによって得た先生の気づき>

・一つ一つの工程で子どもたちの声や、様子、興味をもった内容などに合わせ、活動内容を変更していくことで、児の活動に取り組む姿勢に変化があった。

・苗を大切に育てようとする姿勢や、どのような様子で大きくなっていくのか、実り方を予測し自分でイメージしたり絵で表現することで、実際の実る姿と見比べることができていた。

・サツマイモを育てたことでほかの野菜にも興味をもつ姿が見られたため冬の野菜も育てたが、うまく育てることができなかった。どうして育たなかったのか、子どもたちと話し合いをおこない、「お水が足りなかったかもしれない」「お日様があんまり当たっていなかったのかも」「土がおいしくなかったのかも」と失敗の中でどうして上手くいかなかったのか考察する姿が見られた。